

(抄訳)

スティーブ・ミラーがハーベイ・ゴラブの後任として
AIGの取締役会会長に就任

ニューヨーク発 2010年7月14日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（「AIG」）は本日、ロバート・S（スティーブ）・ミラーがハーベイ・ゴラブに代わりAIGの取締役会会長に就任したことを発表しました。ゴラブは本日付でAIGの取締役に辞任しました。ゴラブからの辞任に関する手紙を添付します。

ミラーは次のように語っています。「AIGの全取締役に代表して、私はゴラブ氏のAIGへの多大なる貢献について感謝の意を表します。AIGはこの1年間の間に活性化を図ることができましたが、AIGの重要課題については引き続き責任を果たそうとしています。それは、米国納税者への返済を行うこと、様々なステークホルダーに対する企業としての責務を果たすこと、投資家に自信を抱いていただけるような、重点事業により集中し、ダウンサイズした会社としての発展に向けてAIGの再編を進めることです。」

ミラー（68歳）は、2009年6月30日に取締役に選任されました。ミラーはミッド・オーシャン・パートナーズの会長も務めています。ミラーは、2009年にデルファイ・コーポレーションのエグゼクティブ・チェアマンを退任しました。それ以前は、デルファイ・コーポレーションの会長兼CEOを務めていました。デルファイに入社以前は、ミシガンのサウスフィールドを拠点とする自動車部品サプライヤーであるフェデラル・モーグル・インクの会長を務めていました。それ以前は、2001年～2003年にベツレヘム・スチールで会長兼CEO、2000年～2001年及び2004年～2005年にフェデラル・モーグルの会長兼CEO、1997年～1999年にウェスト・マネジメントの会長兼CEO、1995年～1996年にモリソン・クヌードセンの会長を務めるなど、数々の企業再編に携わっていました。それ以前は、クライスラー・コーポレーションのバイスプレジデント兼CFOでした。ミラーは現在、シマンテック・コーポレーション及びUALコーポレーション（ユナイテッド・エアラインズ）の取締役に務めています。